

大阪市汚泥処理施設整備運営事業 様式集に関する質問(第2回) 回答										
No.	タイトル	当該箇所						項目名	質問	回答
		頁	第	●	(○)	○	カナ			
1	修繕費①の記載方法について								修繕費①について様式 I-12-1、様式 I-15、様式 I-15-1の「10下期」～「30上期」までの各年度の項目の記載は平準化する前の費用を記載し、様式 I-12-1の年間修繕費●●●●(円/年:平準化)のみに平準化した費用を記載するという理解でよろしいでしょうか。 様式 I-15-3についても同様にご回答をお願いいたします。	様式 I-12-1には、年平準化した費用を記載してください。令和10年度下期、令和30年度上期は、半年度分としてください。 様式 I-15、I-15-1は、各年度の項目に対して平準化する前の費用を記載してください。 様式 I-15-3は、年平準化した費用を記載してください。
2	長期修繕計画表の記載方法について								SPC設立や必要な保険への加入を令和4年度(令和5年3月)に行うため、令和4年度から費用が発生します。 現様式の長期収支計画表は令和5年度からの計画策定様式となっています。 令和4年度を追記した形で実態に即した計画書を策定しても問題ないという理解でよろしいでしょうか。	様式IV-1-3(別添2)の記載方法は事業者の提案としますが、市のサービス対価の支払いは令和5年からとなります。
3	長期修繕計画表の記載方法について								事業は令和30年度に終了する予定ですが、SPCとしては事業終了次年度(令和31年度)にSPC解散等に伴う費用が発生します。 現様式の長期収支計画表は令和30年度までの計画策定様式となっています。 令和31年度を追記した形で、実態に即した計画書を策定しても問題ないという理解でよろしいでしょうか。	様式IV-1-3(別添2)の記載方法は事業者の提案としますが、市のサービス対価の支払いは令和30年までとなります。
4	長期修繕計画表の記載方法について								キャッシュフロー表の中に「初期投資」という項目があります。 初期投資を計画していない場合は「一」をいう記載で問題ないという理解でよろしいでしょうか。 また、評価指標の「PIRR(元利返済前CFの初期投資に対するIRR)」に関しても、初期投資を計画していない場合は「一」と記載しても問題ないという理解でよろしいでしょうか。	キャッシュフロー表における「初期投資」としては、施設整備費等を想定していますが、様式IV-1-3(別添2)の記載方法は事業者の提案とします。